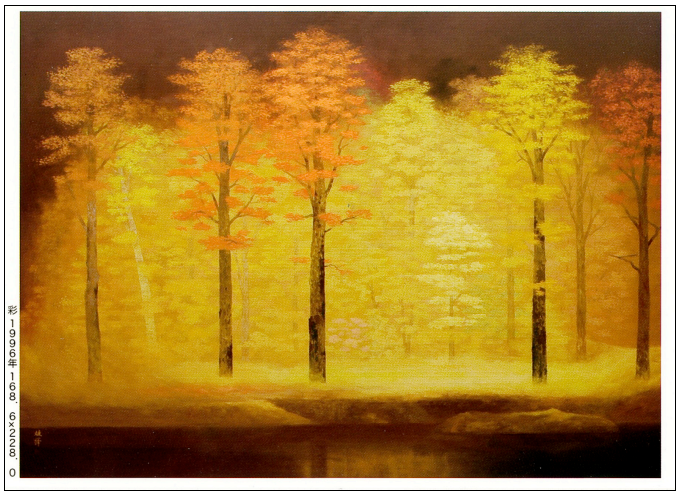
展覧会名：北の旅路

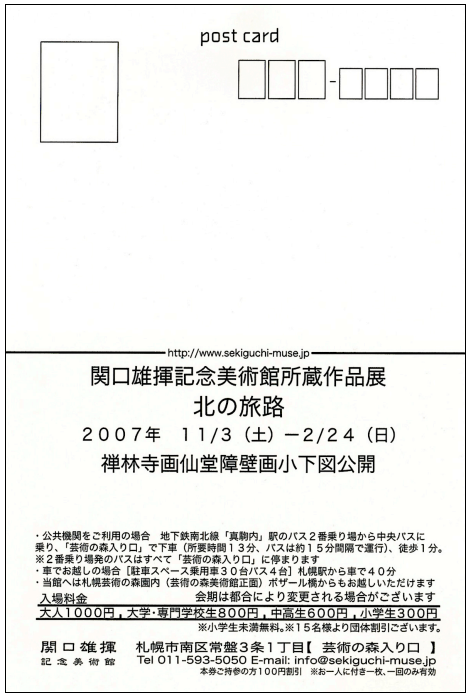
会期：平成１９年１１月３日（土）～平成２０年２月２４日（日）

概要：初めて北海道を訪れて以来、関口はこの地の風景を描くことをライフワークと定めてきた。1979 年と 83 年、日展で 2 回の特選を関口にもたらしたのは、共に北海道を描いた作品であった。また独自の画境を拓いた「モノクローム」の表現の霊感を得たのもこの地においてであったし、さらにまた 80 年代以降、色彩に回帰した際の関口を支えたのも、季節によってダイナミックに変化する風景に恵まれた北海道の大地であった。関口の北海道への思い入れは計り知れない。

本展では、70 年代半ば以降、関口が北海道を題材として描いてきた作品を総覧する。十勝や釧路の平野の風景、知床の深い森や漁村の風景、利尻礼文の海岸や岬の風景。それらは旅人として北海道を訪れた関口の新鮮な驚きと、厳しくも美しい大自然の本質に迫ろうとする、真摯なまなざしを感じさせるだろう。



フライヤー表



フライヤー裏